

森づくり サポーターニュース

県営都市公園
びわこ地域市民の森

Vol. 83

令和4年12月20日号

びわこ地域市民の森(森づくりセンター) 〒524-0102 滋賀県守山市水保町2727
TEL:077-585-6333 FAX:077-585-6312
biwako@morigidukuri.info <https://www.morigidukuri.info>

より豊かな生態系の森を目指して（3）

森は晩秋に入り、朝夕肌寒く感じるようになりました。夏ごろから森の木々を観察していると今年はいろんなドングリの豊作が予見されました。ドングリとはブナ科の果実の俗称で、本公園では、14種類のドングリが植えられています。（ミズナラは除いています。）その内12種のドングリを確認しました。ナラガシワは、滋賀銀行の皆さん方が他所で採ってきたドングリを「ホームステイ」し、苗にしたものを見せていただいたと聞いています。マテバシイの木はまだ小さめで、一部は以前から実っていましたが、今年はたくさんの木にドングリができました。この森の実の落ちる順は、クリ、マテバシイ、「スダジイ、ツブラジイ、コナラ、クヌギ、アベマキ、カシワ、ナラガシワ、ウバメガシ」、そしてこれからアラカシ、シラカシです。ウラジロガシとイチイガシはまだ確認できていません。



ブナ類が目立つ樹林（左はエノキ（ニレ科・アサ科））



クリ（左）とクヌギ（右）（共にブナ科）他

10、11月は大変忙しい月でした。2日は「びわこ地域市民の森のつどい」があり、これまでの1.5倍、約6,000人の人出がありました。10月にしては暑い日でしたので、日差しを遮るために一部の人たちはクヌギやコナラの実がなっている下にシートを敷いて座り、暑さを凌いでいました。

その後は毎日のように、市内や近隣の小学校低学年や幼稚園、こども園の子供たちが秋見つけやクラフトに来てくれました。ドングリの殻斗を普通は帽子と言っていますが、「日本自然保護協会のどんぐり検索表」ではパンツといい、トゲトゲパンツ、チューリップパンツ、シマシマパンツ、ウロコのパンツと表示されています。ドングリを見つけ、パンツを紹介するとワッと歓声が上がります。ドングリの他にもいろんな草木の実（種）を見つけ紹介します。特に喜ぶドングリは、食べられるスダジイ、ツブラジイ、大きな丸いクヌギ、アベマキ、そして長くて大きなナラガシワです。毎回、子供たちが袋一杯拾って帰るので、次に来る子供たちの分があるかと心配しましたが、そのたびに落ちてくれました。

これから落葉樹の葉が落ち、ますます豊かな自然になっていきます。今後も木々の成長が楽しみです。



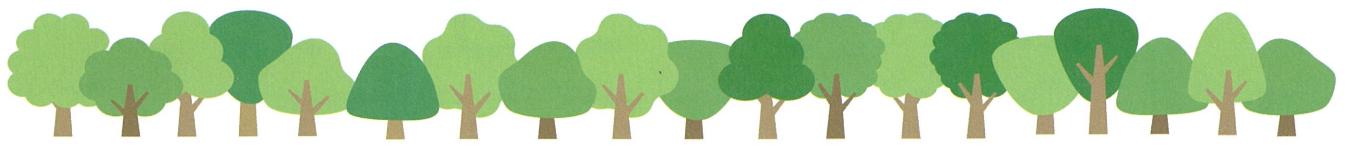
スダジイの実（チューリップパンツ）（8月）



マテバシイの実（ウロコパンツ）（8月）

2022 びわこ地球市民の森のつどい開催！

メインテーマ「地球環境を考え、森に感謝し、森を楽しもう！」



新型コロナウィルスの影響で中止となっていました「びわこ地球市民の森のつどい」が、3年ぶりに開催されました。

当日は、秋晴れのもと、「地球環境を考え、森に感謝し、森を楽しもう！」をテーマに、里の森ゾーンの芝生広場の会場を中心に行われました。

今回は、指定管理者が変わり新しい管理体制のもとでの初めてのつどいで、芝生広場だけでなく森の中を広く使い、自然をいっぱい満喫してもらえるつどいとしました。

開会式では、斎藤実行委員長の開会宣言のあと、主催者として門間滋賀県土木交通部長(知事代理)、宮本守山市長、来賓として国會議員、滋賀県議会議員、守山市議会議員を代表して、武村衆議院議員の挨拶がありました。



斎藤委員長の開会宣言



門間県土木交通部長挨拶



宮本守山市長挨拶

石上森づくりセンター所長より森の紹介とつどいのプログラムについて説明があったあと、守山市緑の少年団、ガールスカウト滋賀県第15団、ボーイスカウト守山第1団の皆さんによる「森づくり宣言」が元気よく宣言され、「自然とふれあいウォーク」がスタートしました。

今回のウォークでは、南コースと北コースに分かれ、ポイントごとにクイズを楽しむ自然観察カードを手に、秋の森の自然を肌で感じながら散策しました。また森にいるキャラクターを探すゲームでは、間伐材で出来た森の妖精やクマさんなどの可愛いキャラクターを見つけ歓声を上げていました。ウォークやゲームを終えたさんは、森づくりセンターで木製クラフトの賞品をゲットし疲れが癒された感じでした。



北コースウォーク



南コースウォーク



間伐材で作られたゲート



森のキャラクター発見！

体験、食、お楽しみコーナーでは、団体、企業などとともにびわ湖手作り市も同時開催され、森づくりセンターをはじめ、芝生広場や森の中の園路沿いなど園全体に数多くのブースが出店されました。

「体験ブース」では、森づくりサポーターの皆さんを中心にこれまで最高の29団体が丸太切りや森の間伐、木や竹を利用したクラフトなどアイデア一杯に工夫して披露され、訪れた参加者は素晴らしい体験に夢中になっていました。



森の中での体験ブース



木製鉄砲での的あてゲーム



間伐材クラフト釣りゲーム



森の間伐体験



森のクラフト体験



丸太切り体験

「食」のブースでは、キッチンカーなど味自慢のお店とともに手作り市など約100のブースが出店し、長蛇の列ができるほどの人気でした。

本部前の芝生広場では、ひなぎくこども園、速野力ナリアこども園の演技、桐生オッカリーナーズのオカリナやこだまの太鼓、ザ・キープウォーターの演奏などのアトラクションで「森のつどい」に一層花を添えました。



多くの来場者で賑わう園内



園路沿いのブースも超満員



園児たちの可愛い演技



また、つどいに併せて行われました第3回の森づくりサポーター活動では、134名のサポーターの皆さんのが参加され、自然とふれあいウォークや体験ブースでの活動などつどいをさらに盛り上げました。

当日は、天候にも恵まれ、また手作り市やキッチンカーなど数多くの出店もあり、これまで最高の約6,000人の来場者が訪れ盛大のうちに終えることができました。

ご協賛、ご協力いただきました企業、団体、地域、関係機関、関係者の皆様、ありがとうございました。

来年度の「森のつどい」は春に行う予定です。今後とも森づくりの推進により一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

森づくり トピックス

この時期(10月～4月)、公園の「里の森ゾーン」の南西側(市道沿い)にはサクラが咲いています。

四季桜(十月桜)で、白や淡いピンクの花が黄葉や曇天をバックに映えています。

4月のはじめ頃には、市道西側のソメイヨシノも満開になり、通り抜けが楽しめる区間もあります。

大きくなり交通の妨げになりそうなので、こちらの手入れもサポートお願いします。

日本のサクラの仲間は、ヒマラヤ山麓に自生する、秋に開花するサクラが、種分化しながら広がっていったとされています。

秋から冬に咲く品種は、その性質を引き継いでいるよう。

ソメイヨシノも秋に花を見ることがあります、「狂い咲き」ではなく「先祖帰り」?



四季桜
(十月桜)並木



曇天に映える
サクラの花

おしらせ

第4回「森づくりサポーター活動」のご案内

早春の森が、みなさんの

お越しをお待ちしています。

開催期日 令和5年3月4日(土)

開催場所 びわこ地球市民の森(ふれあいゾーン)

活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室

森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100～200m
植樹面積	80,808m ²
植樹期間	H13～H25
植樹活動参加者数	45,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(R3)	241,551人
森づくり活動参加者数(R3)	3,418人
うち育樹活動参加者数(R3)	2,549人



3年ぶりに開催された「森のつどい」、天候にも恵まれ、これまでで最高の来場者で賑わい大盛況のうちに終えることができました。今年は新体制のもとでの開催であり、芝生広場だけでなく森の中や園路などを広く使い、まさにご挨拶でもありました軽井沢を思い起こすような木々に囲まれた自然豊かなつどいとなりました。ご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。